

2 新大医歯総庶第 15 号
令和 2 年 5 月 15 日

国公立医科大学長
国公立大学医学研究科長
国公立大学医学部長
関係機関の長
殿

新潟大学教育研究院医歯学系長
新潟大学医学部長
染矢俊幸
(公印省略)
新潟大学医歯学総合病院長
富田善彦
(公印省略)

総合周産期母子医療センター教授候補者の追加公募について (依頼)

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学医歯学総合病院では総合周産期母子医療センターの高桑好一教授が、令和 2 年 3 月 31 日付けで退職したことに伴い、同センターの教授候補者の選考を行っているところですが、このたび下記のとおり追加公募を行うことといたしました。

周産期医学に関する高い臨床能力と実践経験、ビジョンと熱意、リーダーシップと管理運営能力を持ち、医学部・大学院における教育研究への熱意と能力を有する方の応募を期待しております。

つきましては、貴学及び関係機関の適任者について、御推薦いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 所 属 新潟大学医歯学総合病院
- 2 担当学部・研究科 医学部・大学院医歯学総合研究科
- 3 職名・人員 教授 1 名
- 4 採用予定日 令和 2 年 12 月 1 日以降のできるだけ早い時期
- 5 応募締切日 令和 2 年 7 月 20 日 (月) 必着

6 提出書類（全て各1部。紙媒体の郵送に加え、全ての書類の電子データを下記メールアドレス又はCD-R等の電子媒体により送付すること）

- (1) 履歴書（様式自由 ただし、写真貼付、氏名自署、研究室及び自宅の連絡先・E-mail 及び携帯電話番号は記載のこと）
- (2) 原著論文等一覧（別紙様式1）
- (3) 業績目録（様式自由 ただし、著書、原著、総説、その他の論文、国内外学会のシンポジウム講演（自身が講演者であるものに限る）、科学研究費、競争的研究資金等の取得状況、学会賞その他受賞歴の順とし、各項目とも新しい順に記載したもの。また、各論文について掲載誌のインパクトファクター（2019年6月にリリースされた最新のJournal of Citation Reports掲載）を記載すること。なお、和文を入れる場合は英文と分けることとし、英文原著についてはコレスポンディングオーサーの論文に印をつけること）
- (4) 原著論文等業績データ（別紙様式2）
- (5) 主な業績文献別刷 10編（※コピー等でA4版に統一し、業績目録に印をつけること）
- (6) 上記(5)の主な業績10篇の各概要（様式自由）（100字程度×10）
（※共著の場合、当該論文中で応募者自身が関与・貢献した部分を明記すること）
- (7) 過去5年間の産科手術業績（別紙様式3）
- (8) 特殊な出産症例のケースレポート 5例（様式自由）（1症例1,000字以内）
- (9) 代表的な手術の手術記録（写） 5件（※個人情報部分は黒塗りすること）
- (10) 臨床に関する実績と抱負（様式自由）（2,000字以内）
- (11) 学部教育、大学院教育に関する実績と抱負（様式自由）（2,000字以内）
- (12) 研究に関する実績と抱負（様式自由）（2,000字以内）
- (13) センター運営に関する抱負（様式自由）（1,000字以内）
- (14) 「医師の働き方改革」を踏まえて、新潟県における周産期医療体制をどのようにするかについての展望（1,000字以内）
- (15) 学位論文題名、取得大学名及び取得年月日

7 その他

- ・医歯学総合病院の教員は、任期制（5年、再任可）としております。
- ・男女共同参画の視点から、業績が同等であれば女性を優先的に採用します。
- ・提出された書類は、選考の目的以外には使用いたしません。ご提出いただいた書類（著書除く）は返却いたしませんので、予めご了承願います。
- ・Research ID を御教示いただくことが可能な場合、業績目録の最後に記載くださるようお願いします。

8 提出先 〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医歯学系総務課庶務係
Tel. 025-227-2004 / Fax. 025-227-0715
E-mail. shomu@med.niigata-u.ac.jp

※ 封書には「総合周産期母子医療センター教授候補者応募書類在中」と朱書きし、簡易書留など受け取り確認のできる方法にて送付願います。
最終選考に進まれた場合には、御講演を依頼しますので、御承知おき願います。

様式1

原 著 論 文 等 一 覧					
氏 名					
類 別		発 表 年 別 論 文 数			合 計
		2009年以前	2010～2014年	2015年以降	
著 書	外 国 語	()	()	()	()
	日 本 語	()	()	()	()
原 著	外 国 語	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】
	日 本 語	()	()	()	()
総 説	外 国 語	()	()	()	()
	日 本 語	()	()	()	()
症 例 報 告	外 国 語	()	()	()	()
	日 本 語	()	()	()	()
そ の 他	外 国 語	()	()	()	()
	日 本 語	()	()	()	()

それぞれ空欄に総数を記入し、さらに()内に筆頭論文数を、
【 】内にコレスポンドイングオーサー論文数を記入すること。

様式3

過去5年間の産科手術業績							
氏名							
産科手術名 <small>（代表的な手術を5-10例程度選んで記載し、残りは「その他」としてまとめて記載してください。 例：全前置胎盤に対する帝王切開術、品胎に対する帝王切開術などに分類して記載してください。）</small>	執刀者・指導的 第一助手の別	年別産科手術件数					合計
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 以降	
	執刀者						
	指導的 第一助手						
	執刀者						
	指導的 第一助手						
	執刀者						
	指導的 第一助手						
	執刀者						
	指導的 第一助手						
その他	執刀者						
	指導的 第一助手						
合計							

必要に応じて、行数は、適宜増やして作成下さい。